舞曲

Bukyoku

喜多直毅クアルテット

- violin 喜多直毅
- bandoneon 北村聡
- piano 三枝伸太郎
- contrabass 田辺和弘
- dance
ジャン・サスポータス
ベネディクト・ビリエ

ブッパタール ピナ・バウシュ舞踏団出身ダンサーと
喜多直毅クアルテットによるパフォーマンス。



Bénédicte Billet



Naoki Kita Quartet

Jean Laurent Sasportes

2022
9/15(木)
19:00開場
19:30開演
田園調布・いずるば

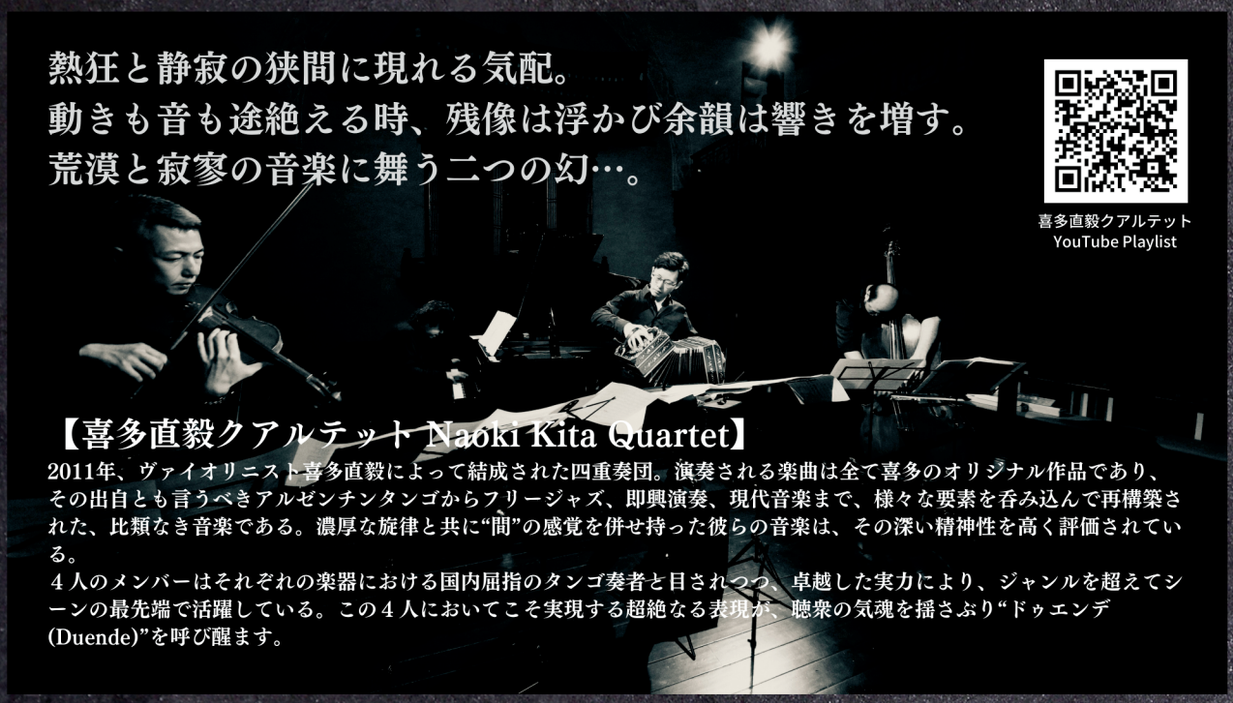
Beyond the sea 2022

喜多直毅

IZURUBA

熱狂と静寂の狭間に現れる気配。
動きも音も途絶える時、残像は浮かび余韻は響きを増す。
荒漠と寂寥の音楽に舞う二つの幻…。

喜多直毅クアルテット
YouTube Playlist



【喜多直毅クアルテット Naoki Kita Quartet】

2011年、ヴァイオリニスト喜多直毅によって結成された四重奏団。演奏される楽曲は全て喜多のオリジナル作品であり、その出自とも言うべきアルゼンチンタンゴからフリージャズ、即興演奏、現代音楽まで、様々な要素を呑み込んで再構築された、比類なき音楽である。濃厚な旋律と共に“間”の感覚を併せ持った彼らの音楽は、その深い精神性を高く評価されている。
４人のメンバーはそれぞれの楽器における国内屈指のタンゴ奏者と目されつつ、卓越した実力により、ジャンルを超えてシーンの最先端で活躍している。この４人においてこそ実現する超絶なる表現が、聴衆の気魂を揺さぶり“ドゥエンデ(Duende)”を呼び醒ます。



【ジャン・サスポータス Jean Laurent Sasportes】

1952年カサブランカ（モロッコ）生まれ。パリでモダンダンスを始め、ダンサーとダンス教師のディプロマを取得。1979年、ヴッパータールのピナ・バウシュ・カンパニーのソロダンサーとして活動を開始。世界中の劇場で踊り続け、ピナの代表作「カフェ・ミュラー」は以来35年400回を越える。1997年から2017年までゲストソリストとしてレパートリー作品に出演。
1989年以降、多くの音楽家とダンスと即興演奏のコラボレーションを展開している。作曲家でコントラバス奏者の齋藤徹と出会い、コラボレーションによるデュオ作品を日本全国15以上の都市で発表。彼と共にヨーロッパと日本のアーティストとの文化交流のプラットフォームを構築する。
1998年以降、ヨーロッパと日本に於いて多くの振付作品を発表する。代表作は「Looking for Kenji」、「オペリータ『うたをさがして』」、「私の城」「Am Anfang war das Chaos」。「カフェ・アダ·ダンスシアター」主宰。オペラの演出・振付も行う。また、俳優としても多くの映画に出演する。ペドロ·アルモドバル監督作品「トークトゥーハー」（アカデミー賞受賞）では「世界で一番哀しい顔の男」と評される。

【ベネディクト・ビリエ Bénédicte Billet】

1954年、フランス生まれ。パリ国立高等音楽院でクラシック・バレエを学んだ後、リヨン・オペラ座で踊る。1975年、パリに戻り、ピーター・ゴスのモダンダンス・カンパニーに参加。1981年にドイツに渡り、ヴッパータールにあるピナ・バウシュのタンツテアターに参加し、1989年までダンサーとして活躍する。2001年にヴッパータール舞踊団に復帰し、「Kontakthof with ladies and gentlemen from the age of 65」プロジェクトに参加、リハーサルディレクターも務める。現在は、ピナ・バウシュの作品の再演の共同リハーサル・ディレクターを務めるほか、「ピナ・バウシュ・アーカイヴ」のアーカイヴの構築にも携わっている。



【公演詳細】

2022年9月15日(木) 19:00開場/19:30開演
いずるば(沼部/多摩川)
東京都大田区田園調布本町38-8
東急多摩川線「沼部駅」より徒歩5分、東急東横線／目黒線「多摩川駅」より徒歩10分
※左のQRコードをスマホで読み込むと会場地図（Googleマップ）をご覧頂けます。

map

料金：ご予約4,500円/当日5,000円
ご予約・お問い合わせ：violin@nkita.net
メールタイトルは「喜多クアルテット9月予約」、メール本文に「代表者氏名、人数、連絡先電話番号」を必ずご記入の上、お申し込みください。
※右のQRコードをスマホで読み込むとメール作成画面が現れます。『メール作成画面はこちら』をタップするとメーラーが起動します。

booking

Beyond the sea 2022